

94号

g-kawaraban@googlegroups.com

学園町
かわら版

購読無料・各戸配布／隔月刊行

発行人 / 学園町自治会会長・人見良一
 投稿・連絡先 / 学園町2丁目8番地14号
 電話・FAX/421-2336
 企画編集 / 学園町自治会広報委員会
 編集長 / 浜名 純



インドで頑張っています!!

1丁目の矢野圭輔さん

海外を舞台に働きたい——若い頃からの夢を実現して今、インドで国際物流の仕事に携わっている矢野圭輔さん(35)。妻の伊世さん(36)と二人のお子さん、くるみちゃん(7歳)、楓ちゃん(1歳)と離れてチェンナイに単身赴任中です。日本に一時帰国した折りにお話を伺いました。

お二人が学園町に引っ越してきたのが8年前の2014年3月。その前は千葉や新座に住んでいました。

圭輔さんは熊本県生まれ。5歳の時に銀行員だった父親の転勤でマレーシアの首都クアラルンプールへ。小学校時代のほとんどを現地で過ごし、帰国後、日本の中学校、高校を卒業して、

東京農業大学の北海道オホーツクキャンパス(網走市)に入学しました。同キャンパスには、バイオ資源、バイオ産業に関わる自然・生命・人間・社会を幅広く学ぶ生物産業学部があります。

一方、伊世さんは3歳から学園町に隣接した南沢で育ち、高校卒業まで南沢の実家に住んでいました。そして、入学したのが東京農大北海道オホーツクキャンパス。ここで圭輔さんと運命的な出会いがあったというわけです。

オホーツクキャンパスを選んだ理由は、圭輔さんが「自然と関わりたかった」、伊世さんが「食品関係のことを学べるのが魅力だった」と微妙に違っていますが、二人とも「家を出たかった。どうせなら遠い所がよかった」という点では一致しています。

卒業後、圭輔さんは近鉄エクスプレスに就職しました。国際物流を行っている企業で「海外で育ったこともあり、世界を舞台に仕事をしたかった。物流系の企業は海外拠点が多く、すぐに海外で働けると思ったのです」。最初の勤務地は成田空港、その後も都内のオフィスで勤務し、当初の希望とは裏腹に海外勤務となりませんでした。

一方、伊世さんは卒業後実家の南沢に戻り、業務用の食品卸の会社に務めました。

そして、二人は2013年に結婚、学園町に引っ越してきたというわけです。お子さんが生まれる前に一戸建てに引っ越ししようと思っていたところ、学園町に気に入った物件がありました。「南沢の実家からひばりヶ丘駅へ行く時、学園町を通るのですが、いいなあと思っていました。緑がまだ残っている環境もいいですね」と伊世さん。

圭輔さんは「マレーシアのクアラルンプールでは、首都とはいえ自然豊かな所に住んでいました。日本に帰国した時は、最初渋谷区のビルばかり場所に住んでいて、子供心に緑のあるところに住みたいという思いが募りました。ここはちよつと歩けば落合川にも行け、子供が遊べます。野菜の直売所も近くにありますが」と話します。

すぐに海外で働けると思っていた圭輔さんの夢が実現したのが、入社後10年ほど経った2020年でした。赴任地はインドのチェンナイ(かつての地名はマドラス)。国際輸送を担っている。例えば日本の自動車メーカーの部品の輸入や送り出しの手配業務など営業的な仕事に従事しています。

しかし、翌年からインドでは新型コロナウイルスが猛威をふるい、1日40万人が感染するほどになり、赴任後半年でいったん帰国し、昨年8月に再びインドへ。そして、昨年末に日本に一時帰国しました。このインタビュをしたのは今年1月17日ですが、圭輔さんはその翌日、インドに戻りました。

「あと3、4年はインドで頑張ります」という言葉を残して……。

最後に学園町への要望や希望を聞いたところ、「子育ての環境にはいいのですが、意外に遊び場が少ないですね。遊びに行くためにはひばりが丘団地に行くか、自由学園しの茶寮しかありません」という感想が返ってきました。

自由学園
からのお知らせ

■幼児生活団園庭開放

5月25日(水) 10:00～11:00

6月2日(木) 10:00～11:00

6月8日(水) 10:00～11:00

幼児生活団幼稚園入園希望の方へ園庭開放を行います。

■男子部・女子部学校説明会

4月23日(土) 14:30～15:15

5月21日(土) 14:30～15:15

男子部・女子部の中等科・高等科入学希望の方へ学校説明会を行います。対象・小学4年生～中学3年生

■初等部オンライン学校説明会

4月23日(土) 9:30～10:30

5月23日(土) 9:30～10:30 全体説明会

校内見学・個別相談】

※上記催しについて、詳細は自由学園のホームページに掲載しております。

※お問合せ先：自由学園広報本部

TEL: 042-428-2123

e-mail: kh@jyu.ac.jp

URL: https://www.jyu.ac.jp

「親子で楽しむアンサンブル」・「音楽の贈り物」 コミュニティの活性化めざして 4月23日、地域密着型コンサート開催

長引くコロナ禍で地域コミュニティの形も様変わりしています。外出を控えた「おうち生活」やフリーマーケットをはじめとするさまざまなイベントも自粛を余儀なくされ住民同士の交流も途絶えがちです。そんな状況を打破しようと4月23日(土)、自由学園みらいかで「地域密着型コンサート」が開催されます。

「親子で楽しむアンサンブル」チェロ、クラリネット、ヴァイオリンによる協演」と銘打ち、国際的に活躍する東京藝術大学卒業の3人の音楽家が演奏します。

この企画の代表者・荻野晶子さんは「コロナの感染拡大の影響で地域コミュニティの希薄化が進んでいます。これまでと異なる生活を強いられる中、本物の音楽に触れて、地域の皆さまに幸せな気持ちになってもらい、相互の絆を深めたいと思っています。これからも地域コミュニティ活性化のために皆さんが楽しめるイベントを開催していきたい」と話しています。

コンサートは、親子向けの午前の部「親子で楽しむアンサンブル」(10時半～11時半)、一般向け(小学校高学年以上)の午後の部「音楽の贈り物」(14時～15時半)の

2部で構成され、終了後懇親会(ワンコインドリンク)を予定しています。午前の部は小学校中学年までのお子さんと保護者が対象で、定員40名。料金は大人1000円、子供500円(3歳未満は無料)。午後の部は定員40名で、大人3000円、学生2000円(小中高)。

演奏者のプロフィールは以下の通りです。

●山澤陽子 クラリネット。
2009年藝大シンフォニーオーケストラの一員としてベルリン公演。ソロ、室内楽、オーケストラで活動。

●花岡(現・井口) 沙季 ヴァイオリン。Zathurez 国際コンクールをはじめ多数の国内外のコンサートで入賞。現在、東京室内管弦楽団団員。

●山澤慧 チェロ。2015年以降、無伴奏チェロ曲のみを集めた「マインドツリー」を毎年開催。千葉交響楽団契約首席チェロ奏者。

■申し込みは、
下記QRコード
午前の部(親子で楽しむアンサンブル)



午後の部
(音楽の贈り物)



または
①お名前(ふりがな)、
②お申し込み人数
③電話番号
を記載の上、
Info.a0907@gmail.com までお申し込みください。

主催 AKIKO OGINO Service
協賛 学園町自治会
お問合せ info.a0907@gmail.com

新刊書で高橋学園長が 養老猛東大名普教授と対談

解剖学者の養老猛・東京大学名誉教授が書いた『子どもが心配人として大事な三つの力』(PHP新書)が、2月に発刊されました。次代を担う子どもたちを育てることを思う気持ちから医師や脳研究者ら4人の識者と対談した記録を1冊にまとめたものです。その4人の対談者の一人が高橋和也自由学園学園長。本書の第4章で「自分の頭で考える人を育てる——自由学園の教育」と題して、自由学園の教育理念とその実践を紹介しながら、これからの社会を創っていく子どもに必要なことは何かを論じています。

南部地域センターからの お知らせ

★なんぶまなぶシリーズ

《1》「ヨガ教室関係①～⑤」

①「夕方YOGA教室」(金曜クラス)

4月8日・15日・5月6日・13日・20日・6月3日・10日

17:30～18:30 参加費500円(当日払い)定員10名 健康運動指導士中村陽子

②「ヨガ男塾」

4月8日・15日・5月6日・13日・20日・6月3日・10日

19:00～20:00

③「日曜ヨガ教室」

4月17日・5月15日・6月5日

1部10:00～11:00

2部13:00～14:00

④「健康体操」

4月17日・5月15日・6月5日

1部11:30～12:30

2部14:30～15:30

⑤「夕方YOGA教室」(火曜クラス)

4月12日・19日・26日・5月10日・17日・24日・31日・6月7日17:30～18:30

※上記②、③、④、⑤の【参加費】、【定員】、【講師】については、いずれも①と同一。

★ベビーマッサージ

4月11日(月)・5月9日(月)

10:00～12:00 参加費2000円。定員4組。生後2か月～1歳前後の赤ちゃんとお母さん・妊婦さん

★「バクさんとその仲間と音楽と」

4月24日(日)・5月29日(日)

開場13:00 13:15～15:00 参加費500円

★60歳からの音楽で脳トレ体操

4月25日(月)・5月30日(月)

10:15～11:30 参加費1000円

★妊婦さんとママのためのところからだのセルフケアレッスン

4月25日(月)・5月23日(月)

10:00～11:30 定員8名(親子参加は4組まで) 参加費500円。対象：妊娠中の不安な気持ちを共有したい方。子育ての悩みを共有したい方。マタニティライフをナチュラルなケアで過ごしたい方

★なんぶおしゃべりサロン

5月5日(月)・6月3日(月)

13:30～15:30 参加費1000円 対象者：地域にお住いの高齢者 ★えいごであそぼう(5月21日(日)) 幼児クラス 13:30～14:30 小学生クラス 15:00～16:00 定員：各クラス10名 参加費1000円(教材費含む) 講師：Mai先生 (英語教室に長年携わっているベテラン講師)

※各イベント問合せ
南部地域センター
(指定管理者 株式会社セイウン)
042-451-2021
Higashikurume_nanbu@s-seiun.co.jp

忙しい船内生活

篠宮 晴子

船内新聞で始まる一日

早朝、部屋には毎日船内新聞が届けられる。その日の予定が時間場所ごとに紹介されている。例えば、ラジオ体操午前6時、船の先端スペース。麻雀教室午前10時、左舷通路。乗客が名乗りをあげて始まる自主企画と呼ばれるものがほとんどだ。運動会、卓球大会、紅白歌合戦などの行事もある。新聞を見ながら予定を決める。長期集中できる環境を活かして、私は英語のレッスンをとっていた。

修理しながら船は行く
酔い止めを飲みながら私は行く
乗っていたオセアニック号は、



★バルト三国の大学生と船内で
(右下が私)

この前の航海で使われていた船が壊れたため、急遽スペインの船会社の倉庫にあったものを引っ張り出してきた代物だ。長いこと使われていなかったもので絶不調である。部屋の出入り口の鍵はさび付いて、かからないし開かない。

また、ある朝、それは寝ぼけまなこの夫の身に起きた。横向きで寝ていた目の前の壁に5ミリほどの黒い点が見える。よく見ると虫である。なんと南京虫だったのだ。虫も寝ぼけて動きが止まっていたのだ。隣の部屋にも出て大騒ぎになった。ベッドを壁から離し食わないようにして事なきを得た。

部屋に鏡ばり観音開きの洋服ダンスがついていた。夫が開けようとした瞬間、重さ10キロはありそうなその扉の片方が、ドンと10センチほど、夫の足先をかすめて落ちたのだ。幸い怪我はしなかったが、即修理を頼んだ。がっしりした体格の30代位の男性が2人、来たと思つたらいつの間にかいなくなった。見ると扉が斜めについている。手に負えないと見てずらかったようだ。危ないのもう一方の扉だけで使うことにした。

私は船酔いする。朝起きたら酔い止めの薬を飲むが、揺れが大きいと効かない。寝るしかない。夫は酒には弱い船には酔わない。

珈琲、紅茶それともお茶？

食事は食堂で3食サービスされる。「作ることから解放される」と女性陣に大好評である。軽食はデッキの喫茶などでも食べることが出来る。うどん、ラーメン、フオーなど飽きないようにメニューも工夫されていた。

横浜を出港して1か月程経ったころ、水不足になった。食堂ではティーブルにつくとウエイターが「コーヒー、ティー、オア、ジャパニーズティー」と聞いてくる。それは有難いのだが、水不足を海水の処理で凌いでいたせいかどれを飲んでも塩っぱいのだ。要は、味がよく分からない。口にするたび、これはどれだろうとなる。そのうに、そもそも何を頼んだっけが加わる。ウエイターから聞かれたセリフをそっくり自分に聞かせる訳だ。次の寄港地で水を補給してやつと本来の味に戻った。

怒涛のヨーロッパ

寄港する前日には、パスポートやお金の用意、参加するツアーの説明等がある。ヨーロッパは国がたてこんでいる。とどうなるか。説明会、上陸、説明会、上陸。これが連日続く。するとみんなこんがらがってくる。食事時、昨日デスマークでと言うと、えっ、昨日はフィンランドじゃなかった、てな具合。頭の中の整理が上陸のスピードに追い付かないのである。

花だより②⑥

にぎやかな草花が咲き
木々には清々しい新緑
立川まり



3月下旬から学園町も花がたくさん芽吹いて春らしくなってきました。桜、モクレン、沈丁花などがそろそろ終わり、木々は新緑の季節になってきます。桜の儂さも趣があつていいですが、新緑の清々しさもとても気持ちよく私は大好きです。庭ではチューリップやネモフィラなど草花がにぎやかに咲き始めます。

一方、お花屋さんでは常に少しずつ季節の先取りのため、チューリップやスイートピーなど春の花は野生種などを除いてはあまり見られなくなりま。今は品種改良や輸入など、通年を通してみられる花はたくさんありますが、その季節ならではの切り花達もあります。

4月になって出てくる花、例えば芍薬。こちらは4月中旬頃から少しずつ出てきて5月下旬ころまで見られます。芍薬はつぼみは3〜5cm位の球状ののですが咲くと10〜15cmほどの大きな花になります。とても見ごたえ



があつて一輪挿しでも貫禄がありますし、何本かまとめて挿すととても華やかでボリュームがあります。この季節ならではのおすすめてです。蕾から咲きだすまで1週間ほどかかり咲きだすと一気に開きます。小さい硬いつぼみはたまに咲かずに終わってしまうことがあるのでお花屋さんで購入するときには少し色づいているものを選ぶといいでしょう。

ビバーナムやライラックもこの季節のもので、少し高価ですが人気があります。これらは水揚げが難しいのですが、よく水が上がつたものを購入して花瓶に挿すときは下の茎(枝)の皮を剥ぐ、割る、中綿を取るなどしてたっぷり水をあげると花持ちがよくなります。

また、通年見られる花でもガーベラ、カーネーションなどは旬の季節で花もちもいのでおススメです。

折角ですから季節の花を飾ってみてはいかがでしょうか。
お問い合わせは立川さん(フローラルライフ)042-423-8646

災害に備えて 大切な家族の話し合い

みなさん、災害時について家庭内で話していますか？

3月16日23時36分に起きた福島沖地震では、久しぶりの大きな揺れで慌てた方も多かったのではないのでしょうか。

地震の場合は、直接的な被害に對してだけではなく、二次災害にも注意が必要です。また、二次災害を起こさないための準備も常に心がけておきたいものです。災害が起きた時のことを想像することは、楽しいことではありませんが、どのように行動するかをイメージしておくことはとても重要です。

一般的には、災害後72時間は「自助」と言われています。大規模災害発生時には1週間が自助になります。また、災害時に避難を思い立つてから実際に避難できるまでに1時間を要すると言われています。

例えば、地震によって大規模火災が都心で起きて、逃げなくてはいけなくなった時に、鞆一つを持って逃げられる準備が出来ていなくても、避難するときに持つて出なくてはならないリスト一覧を通常から作っておくだけでも良いかもしれません。そのためにも家庭内で話し合いをして、ある程度のことを決めておくのが大切な

ります。

我が家は、夫婦二人暮らしで、お互い会社員ですが、二人で以下のことを申し合わせています。

★外出時に災害にあった場合の待ち合わせ場所、離れて暮らす息子たちと安否情報の確認方法

★備蓄品の相談（食料、水、薬、トイレットペーパー、カセットコンロ、ろうそく、マッチ、電池等）

★ライフライン（電気・ガス、上下水道、通信）の停止に対する備え

★避難場合の持ち出し品を詰めたリュックサックの用意

もう一つ、災害時に重要なのは早い決断と言われています。落ちていて判断すると同時に、的確で迅速な決断が出来ることが大切な命を救うことに繋がります。迷っている間に多くのことやものを失ってしまう場合もあるでしょう。

毎日でもなくても2か月に1回、半年に1回など、家族で話をすることが災害への備えの一助となります。そして、たまには隣近所の方々と防災についての会話をしてみませんか。ヒントになること、いざと言うときに助けになることがあるかもしれませんよ。

（荻野晶子）

東道五十三次完歩しました 草薙から宇津野の谷へ

2丁目 藤田義子

●第16回2019年3月2日（1日目9km26000歩）・3日（2日目10km27000歩）

草薙 府中 丸子 宇津野の谷

草薙を出て静鉄静岡清水線に沿って府中宿にはいる。この宿は東海道最大規模の宿場で天保14（1843）年には人口1万4071人を数えた。家康が天保13年に築城し、大御所として晩年を過ごした駿府城の遺跡は、今四方を掘に囲まれ四つの日本庭園と、茶室を備えた紅葉山庭園、家康の銅像や

稚児のからくり人形などがある公園であった。前回に書いた、望嶽亭を逃れた山岡鉄舟が後に西郷隆盛と江戸城無欠開城を話し合った場所も近くにある。

宿場内を進むと、碁盤の目のように区切られた城下町がある。大工町、紺屋町などと職業ごとに名前がついた区画は家康の都市計画であったようだ。他にも道幅13mの七間町通りがあり400年の歴史ある商店街をゆくりと歩く事ができた。しかし一見碁盤の目の

ようだが、それは何度も直角に曲がって敵の襲撃を交すための都市計画でもあったのだ。丸子宿に入るまで幾度まがったことだろう。

とろろ汁で有名な四百年も続く丁子屋で早目の夕食、地元産の自然薯で作ったとろろ汁を大きな鉢でたつぷり頂いた。昔作りの丁子屋を出ると振袖姿の娘、羽織袴の若者が並んでいた。たまたま3日がお祭りで宿内は沢山の店が賑やかに並び前日の今日は狐の嫁入りでこれからお婿さん狐がお嫁さん狐を迎えに行く行列とか、成程よく見れば皆の頭の上には狐の面が乗っていた。

今回の宿は珍しくルートインホテルではなくホテルオーレであった。次の日国道を2kmほど歩いてから斜めに旧道にはいるので歩道橋を渡るときK君が黙って手をかしてくれた。瓦版5回で私をお母さんと呼んだOさんと言い、このグループではそれぞれが顔のある一人一人だと思った。

日本橋を出て箱根を越えた時のグループでは私はただ大勢の中の一人だったし、他の人もそれぞれがそのようにみえた。このグループでは4年たった今になってもAさん、Iさん他にも沢山の歩き仲間のお顔を思い出すほどに濃い交わりがあった。宇津ノ谷峠の狭い険しい坂も楽しい仲間につられて喘ぎながらも超える事ができたのである。宇津ノ谷岡部道の駅でゴール。

住民との交流目指して 自由学園見学会

「生徒と一緒に自由学園を見て回ろう」という催しが、3月6日（日）に自由学園キャンパスで開かれした。自由学園の学生・生徒たちの「学園町の住民の皆さんともつと交流し、お互いに道ですれ違ったら挨拶をかわせるような関係になりたい。そのためにまず手はじめに自由学園のことと、私たちのことを知ってもらおう」という思いから、この企画が生まれました。女子部、男子部の中等科、高等科の生徒が住民と共に小グループに分かれてキャンパスを散策し、豊かな自然や建物、生徒の生活ぶりなどを紹介しようというものです。コロナ感染対策を徹底し、2部制で実施しました。事前に住民にチラシを配付して呼びかけたところ、大きな反響があり、17グループとなりました。

折りしも白梅・紅梅のまつ盛りのキャンパスを約1時間かけて散策。最初は緊張してぎこちなかった生徒たちの説明も次第に流暢になりました。住民との質疑応答も活発に行われ、当初の目的は十分達せられたといえそうです。

最後に、生徒から「これからも自由学園と学園町の住民の交流が活発になるよう頑張りたい」と抱負が述べられました。こうした交流会などへの住民の皆さんの積極的な参加を期待しています。